

「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム人材育成業務」委託仕様書

1 業務名

あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム人材育成業務

2 目的

本県産業を支える自動車産業は、カーボンニュートラル実現に向け、電動化というパラダイムシフトを迎えており、その中でバッテリーは最重要技術の一つである。本県にはEV・産業用バッテリーを必要とする企業や、セラミックス等の電池材料を扱う企業が集積する等、この先端成長分野へのポテンシャルは非常に高い。

2024年度までに実施した「愛知県次世代バッテリーに関する研究会」の意見をふまえ、「研究・実証」、「人材育成」、「製造拠点等集積化」の分野で具体的な取組を推進するべく、「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）」を設立した。

本業務では、バッテリー利活用・開発人材等の育成につながる取組みを推進する。

3 契約期間

契約日から2026年3月31日（火）まで

4 業務

- (1) 高校生向けバッテリーコンテスト開催
- (2) 小中学生向けでんちフェスタサイドイベントの開催
- (3) 小中学生向け乾電池教室の開催

5 業務内容

- (1) 高校生向けバッテリーコンテスト開催【別添資料2ページ参照】

高校生を対象としたバッテリー利活用・開発人材の育成につながるバッテリー競技会を実施する。競技会参加者を対象に、夏休み期間にキックオフ講習会及びバッテリー製作実習を実施する。実習や競技会を通じて、若年層のバッテリーへの関心向上を図る。2025年度はトライアルとして、10チーム程度を対象に実施する。バッテリーコンテスト（仮称）などバッテリーに係る人材育成の取組を周知すると同時に、高校教員のバッテリーへの理解を向上することを目的として、教員向けに電池関連企業見学会を実施する。

ア イベントタイトルの提案

キックオフ講習会、バッテリー製作実習、バッテリー競技会それぞれの名称（愛称）の提案を行う。また、これら一連の内容が端的に理解できるような名称（愛称）の提案を行う（図1参照）。

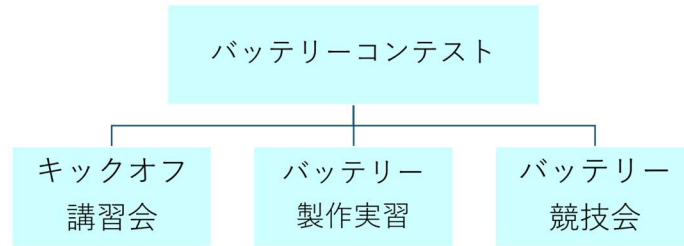


図1 バッテリーコンテストとそれらを構成する要素

イ キックオフ講習会の運営【別添資料3ページ参照】

参加チームメンバーを対象に、コンテストの概要、バッテリーの概論（現状・業界）、バッテリーを扱う上での安全対策等について説明するキックオフ講習会を開催する。

○時期：2025年7月29日（火）午後

○場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）（名古屋市中村区）
7階展示場 702, 703, 704（各 97m²）

○参加者：10チーム（40名）程度

（ア）企画、進行・運営（マニュアル作成含む）

（イ）参加チームへの講習会の案内、参加者とりまとめ

（ウ）講師（企業社員、大学教員）との調整、講師謝金・旅費の支払い

（エ）会場備品・機材（机・椅子、マイク・プロジェクター・スクリーン/モニター等）の調達、会場使用料の支払い（※会場のみ予約は県で実施済み）

○会場使用料：66,000円（9:00～21:00 予約）

※会場使用料には、机・椅子等の備品や音響・映像機材は含まれていない

ウ バッテリー製作実習の運営【別添資料4ページ参照】

参加チームメンバーを対象に、バッテリー製作実習を開催する。

○時期：2025年8月4日（月）～6日（水）のうち連続2日間、10:00～17:00

○場所：名古屋工業大学（名古屋市昭和区）

（ア）企画、進行・運営（マニュアル作成含む）

（イ）参加チームへの製作実習の案内、参加者とりまとめ

（ウ）講師（名古屋工業大学）との調整、学生アルバイト（5名程度）との雇用契約締結、講師・アルバイト等の謝金・旅費の支払い

（エ）実習材料の調達・経費支払い

＜想定される実習材料・資材例＞：電池製作実習キット（ダニエル電池、アルミニウム空気電池）各10セット（チーム数）、
保護メガネ・白衣・ゴム手袋 各40名分

（オ）傷害・損害保険及び参加者保険への加入

バッテリーコンテストの一連のイベントを一括しての保険加入でも構わない。

エ バッテリー競技会の運営【別添資料5ページ参照】

各チームで検討し製作したバッテリーの工夫点のプレゼンテーションと、性能の評価として成果発表を行う競技会を開催する。

○会期：2025年12月13日（土）

○会場：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）（常滑市）展示ホールE

Aichi Sky Expo 会場における各イベントの配置を図2に示す。

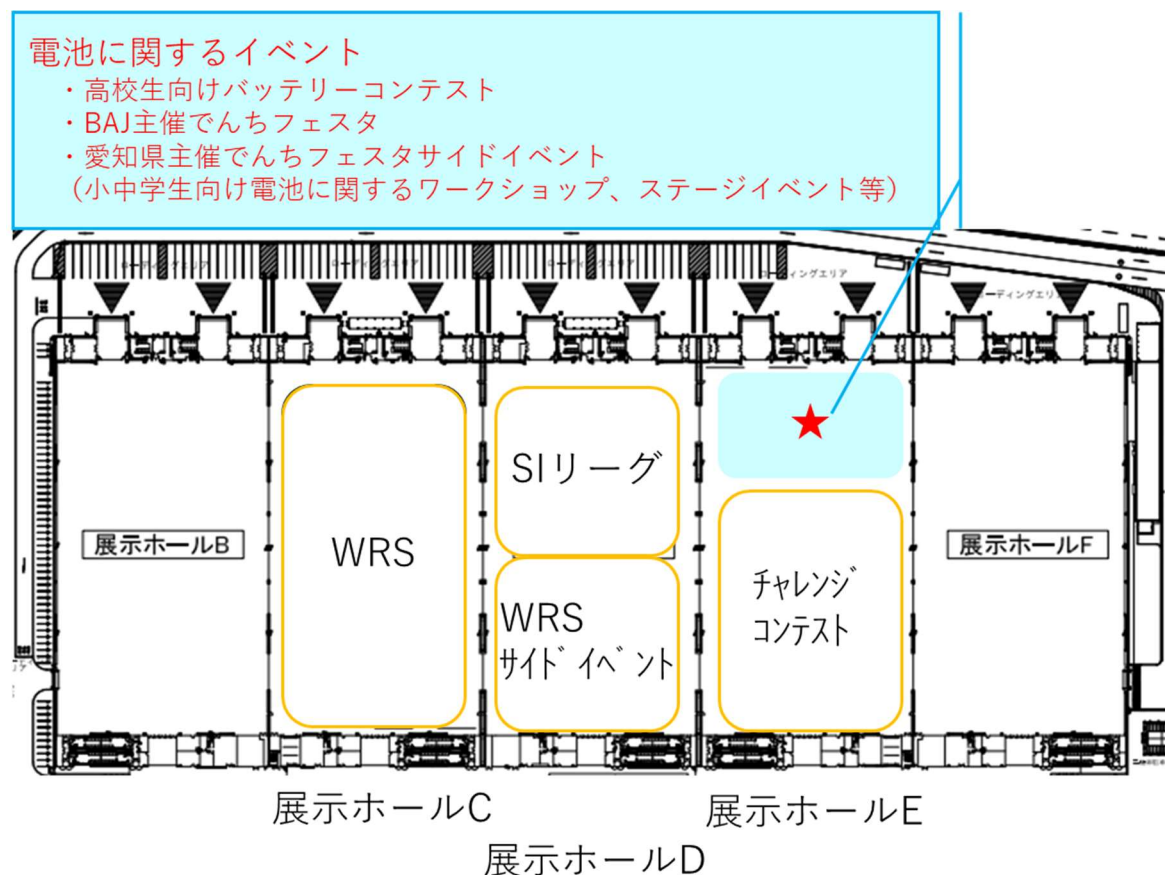


図2 Aichi Sky Expo 会場における各イベントの配置

(ア) バッテリー競技会の計画・調整

コンソーシアム事務局、参加チーム、会場施設管理者、併催イベント※事務局等と必要な調整を行う。開催に当たり必要となる消防・警察等の関係機関への申請手続きを行う。コンテスト運営に当たり、事務局スタッフ用運営マニュアルを作成する。

※併催イベント：World Robot Summit 2025（WRS）、第4回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会（SI リーグ）、2025年度全国少年少女チャレンジ創造コンテスト（チャレンジコンテスト）

(イ) 会場設計・パネル製作

競技会で使用する会場について、「5（2）小中学生向けでんちフェスタサイドイベント」の会場と一体的となるよう、コンソーシアム事務局、参加チーム、会場施設管理者、併催イベント事務局等と調整の上、設計するものとする。

また、参加チームがバッテリー競技会にて使用するパネルのデザイン及び製作をすること。

○面積：「5（2）小中学生向けでんちフェスタサイドイベント」及びBAJ主催でんちフェスタと合わせて3,000m²

（ウ）会場の設営・装飾・撤去

前項の会場設計に基づき、会場設営・装飾・撤去について、必要な資材等の調達・手配、搬出入計画の作成などにより、円滑な会場設営・撤去を行う。

なお、設営・装飾・撤去日程については、以下のとおり。

○設営・装飾日 2025年12月12日（金）

○撤去日 2025年12月13日（土）イベント終了後から24:00まで

（エ）会場使用料の支払い（＊会場の予約は県で実施済み）＊3回支払い

○支払時期（予定）	2025年6月11日	第1回支払
	2025年9月11日	第2回支払（会場使用料の残額）
	2025年12月下旬	第3回支払（空調、電気使用料）

○会場使用料：1,635,005円（各日0:00～24:00予約）

○空調・電気使用料：221,071円（見込、前提：7:00～22:00で2日間稼働）

※バッテリー競技会、でんちフェスタ、でんちフェスタサイドイベントの会場使用料を合わせた金額

（オ）コンテスト審査等の運営

コンテストに係る各参加チームで製作したバッテリーの搬入の調整（搬入日時、保管場所等）、参加チームメンバーによるプレゼンテーション、性能評価（走行タイム計測等）、審査会の運営を行う。審査員への謝金・旅費を支給する。

（カ）企業・大学等チームによるデモンストレーションの企画・運営

企業技術者や大学研究者・大学生で構成される3程度の「オトナチーム」を募集し、高校生で構成される参加チームにとって刺激となるように、デモンストレーションを企画し、開催する。

（キ）式典（開会式及び表彰式）の運営

コンテストの開会式や成績優秀チームの表彰式を運営するとともに、受賞チーム、参加チームの記念写真撮影を行う。受賞チームに対し表彰状を授与する。

○表彰の数：3部門（チーム）

（ク）傷害・損害保険及び参加者保険への加入

（ケ）その他の運営に関する対応

○会期中の事務局の設置

○イベントの画像や映像の撮影

○災害・緊急時対応 等

オ 参加チームへの活動支援等

（ア）参加チームメンバーの情報管理

参加チームメンバーの情報をとりまとめ、管理し、適宜愛知県に報告する。

(イ) 活動支援費の管理

参加チームに対し、活動支援費を支給する。活動支援費の適正な使用を確保するため、参加チームの支援費使用結果と伝票等进行检查し精算する。

<対象経費>

コンテストの実施に必要な材料費、教材、参加チームメンバーの交通費

<上限額>

1 チームあたり 5 万円程度

<支給方法>

概算払い（口座振込）

<精算方法>

2026 年 1 月に参加チームに対して使用結果进行检查（支出内容の適性や伝票の有無等）し、残額分の返金を受ける。返金された金額の取扱いについては、愛知県の指示に従うこと。

(ウ) コンテスト使用材料の調達

コンテスト課題となる共通材料を調達し、各参加チームに配布する。

<必要備品例> 備長炭、活性炭、小型モビリティ等

(エ) 参加チームの活動状況・進捗確認

参加チームの進捗をバッテリー競技会までに 2 回程度（9 月末及び 10 月末頃）確認し、フィードバック及び参加チームのサポートを行うとともに、愛知県に対しても適宜報告する。

カ 教員向け企業見学会開催の運営【別添資料 6 ページ参照】

教員向けの企業見学会の受入れ先企業と調整し、見学会の開催に当たり、必要に応じてコンソーシアム事務局と協力すること。

○時期（想定）：2025 年 8 月上旬

○場所（想定）：愛知県尾張西部地域企業及び静岡県西部地域企業の電池関連工場・事業所 等

○定員：20 名程度

キ 広報・PR の実施

コンテストの開催に当たり、広く周知し来場者を募るために効果的な広報手段を提案し、実施する。併催イベントの関係者等と調整し、ちらし配布など、併催イベントとの相乗効果のある広報・PR を行うこと。

ク アンケートの実施

バッテリーコンテストの参加チームメンバーやバッテリー競技会の観衆及び企業見学会に参加した教員に対して、県と調整し、アンケートを実施する。Web Form を

使用したアンケートでも良い。

(2) 小中学生向けでんちフェスタサイドイベントの開催

【別添資料 7 ページ参照】

2025 年 12 月に Aichi Sky EXP0 にて行われる「World Robot Summit 2025」、「第 4 回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会」、「2025 年度全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」及び「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム人材育成業務」の 1 つである「バッテリーコンテスト」や（一社）電池工業会（BAJ）主催「でんちフェスタ」と併催することにより、科学に関心のある小中高生に対してより効果的にバッテリーへの興味関心の向上を狙う。

ア イベントタイトルの提案

愛知県が主催する電池に関するワークショップやステージイベントなどで構成するサイドイベントの名称（愛称）（以下、「サイドイベント」と言う。）の提案を行う。

また、「高校生向けバッテリーコンテスト」、「でんちフェスタ」及び「サイドイベント」の 3 つの電池に関する一連のイベントの内容を端的に理解できるような名称（愛称）の提案を行う。

イ イベントの企画・運営

でんちフェスタ及びサイドイベントの一般の来場者（小中学生とその保護者を想定）がバッテリーへの理解を深めることを目的に体験型の催事や来場者の関心をひくステージでの講演やステージイベント等を企画し、会場施設管理者、併催イベント事務局等関係者と調整のうえ、運営すること。また併催イベントで開催されるワークショップと相乗効果や親和性を図りつつも、差別化できるものとする。ワークショップ等に必要となる教材や備品等の手配を行うこと。

＜例＞ワークショップの開催、ステージでのイベント

但し、ステージイベントは、隣接イベントの開会式、コンテストの予選及び決勝の実施中は、映像や音声等で競技の妨げとなることは実施しないこと。

ウ 会場設計

サイドイベントの開催に当たり、でんちフェスタやバッテリーコンテスト及び併催イベントが相乗効果を発揮できる会場全体の設計、効果的な配置を提案すること。

○面積：「5（1）高校生向けバッテリーコンテスト」及びでんちフェスタと合わせて 3,000m²

エ 会場の設営・装飾・撤去

前項の会場設計に基づき、会場設営・装飾・撤去は、必要な資材等の調達・手配、搬出入計画の作成などにより、円滑に行うこと。また、来場者向け休憩エリア等を設営し、運営すること。

なお、設営・装飾・撤去日程については、以下のとおり。

○設営・装飾日 2025 年 12 月 12 日（金）

○撤去日 2025 年 12 月 13 日（土）イベント終了後から 24:00 まで

オ 会場使用料の支払い

「5（1）エ（エ）高校生向けバッテリーコンテスト」に含む。

カ でんちフェスタとの調整

サイドイベントの開催に当たり、でんちフェスタの主催者である BAJ と調整を行う。

キ 広報

サイドイベントの開催に当たり、併催イベントの関係者等と調整し、広く周知し来場者を募るために相乗効果のある効果的な広報手段を提案し、実施すること。

ク 来場者向けの配布物の作成

サイドイベントの来場者用にタイムスケジュール等を記載したちらしや、来場者に電池への興味・理解を深めてもらうのに効果的なパンフレット等を作成し、来場者へ配布すること。

ケ 受付・案内業務

サイドイベントの来場者に対する会場受付・入場者管理の体制を構築し、円滑な処理を行うこと。来場やイベントへの参加等に関して、事前登録をはじめとする登録の体制を構築し、問合せに対応すること。会場内にインフォメーション窓口を設置し、来場者への案内及びイベントの受付等を行うこと。

コ 警備・要人対応

サイドイベント及びバッテリーコンテストを安全に実施するため、警備員を適切に配置し、会場内外の交通整理や巡回など業務を実施すること。会期中、視察等で要人が訪れる場合については、動線、駐車場の確保等、必要対策を実施すること。

サ 救護対応

サイドイベントの来場者及びバッテリーコンテストの参加者の急病・ケガ等に対応するため、会場内に救護室を設置すること。必要に応じて看護師を配置し、急病人や負傷者が発生した際の応急処置や近隣の医療機関への搬送の手配等を行うこと。併催イベントの関係者と調整のうえ、救護室の設置等を併催イベントと共同で行ってもよい。

シ 衛生管理・清掃

サイドイベント及び、バッテリーコンテスト会場内の環境維持を図るため、巡回清掃、ごみの収集・処分などを行うこと。

ス その他の運営に関する対応

- ・ 事務局の設置
- ・ 運営の円滑化のための事務局スタッフ用運営マニュアルの作成
- ・ 来場者数のカウント
- ・ イベントの画像、映像を撮影する専任スタッフの配置、及び映像制作
- ・ 必要となる消防・警察等の関係機関への申請手続き
- ・ 災害・緊急時対応
- ・ 傷害・損害保険への加入（対象：ワークショップ参加者）

セ 場内の他イベントとの企画・調整

併催イベントの関係者、施設管理者等と調整のうえ、会場間相互で回遊できるようにし、併催イベントとの親和性や相乗効果のある企画・調整を行うこと。

(3) 小中学生向け乾電池教室の開催【別添資料 7 ページ参照】

電池の正しい理解増進及び電池の関心向上を図るため、BAJ と連携し、小中学生向けの乾電池教室を開催し、電池を身近に感じる体験学習の機会を提供する。夏休み期間中に知の拠点あいち（豊田市）で開催する「こども科学教室」（2 日間）及び産業科学技術総合センター（産業技術センター）（刈谷市）で開催する「みんなの科学教室」（1 日）の体験講座の一つとして実施する。

○対象：100 名程度

○内容：電池の仕組みについての学習、単 1 形マンガン乾電池の製作等

ア 申込み、講師との調整・当日運営補助

「こども科学教室」及び「みんなの科学教室」の日程確定後、主催の BAJ に申し込みを行い、参加費の支払いを行うこと。講師の手配は BAJ が行う。会場施設管理者との調整を行う。

イ 傷害・損害保険及び参加者保険への加入

ウ 実習備品の購入

参加者の安全や会場とする会議室の保護養生のため、必要備品を購入する。

<想定備品例>保護メガネ 50 程度、マスク・ゴム手袋、養生用ブルーシート

エ 広報

記者発表は「こども科学教室」及び「みんなの科学教室」の記者発表に含めて行う。乾電池教室の開催に当たり、「こども科学教室」及び「みんなの科学教室」の関係者等と調整し、広く周知し申込みを募るために相乗効果のある効果的な広報手段を提案し、実施すること。

6 成果物

- ・業務実施報告書（A4 判縦） 2 部
- ・上記の電子データ 1 式
- ・各種ちらし 1 式
- ・記録写真及び関連データ等 1 式
- ・その他、業務に当たって県が作成を指示したもの

※ 電子データは県が指定する形式で作成すること。

7 納品場所

愛知県経済産業局産業部産業科学技術課及び県が指定する場所

8 その他

- (1) 上記5以外で、本事業の趣旨に合う付加提案する企画があれば提案に盛り込むこと。ただし、当該企画内容は委託金額限度額内で行われることとし、詳細内容は県との協議により決定すること。
- (2) 県と十分協議のうえ本業務を実施すること。
- (3) 本業務の開始から終了までの間、業務内容全般を常に把握している統括責任者を置き、業務実施内容や進捗状況の確認等、業務の円滑な実施のために、定期的に県と連絡調整を行うこと。その他、業務を円滑・適正に運営するための組織体制、人員配置を行うこと。
- (4) 委託業務の経理を明確にするため、受託事業者は他の経理と明確に区分して会計処理を行うこと。
- (5) 本業務に係る会計実地検査等が行われる場合は、協力すること。
- (6) 受託事業者は、事業完了後5年間、本委託業務に係る会計帳簿及び証拠書類を県の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存しておかなければならない。
- (7) 本事業が、新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（予定）を活用して実施するため、同交付金の交付要綱等に基づき適正に処理すること。
- (8) 成果物については、第三者の著作権等の権利を侵害していないことを保証すること。
- (9) 本業務の遂行にあたり知り得た情報を、県の許可なく他に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。
- (10) 個人情報等の保護すべき情報を取り扱う場合は、その取扱いに万全の対策を講じること。
- (11) 本業務の実施に当たり、問題等が発生した時は、県に遅滞なく報告するとともに、誠実な対応を行うこと。
- (12) その他、本仕様書に定めのない事項は、県及び受託事業者の協議により定めるものとする。